

ENGLISH FIRSTHAND BEGINNERS' COURSE

FIRSTHAND ACCESS



LONGMAN



目次

はじめに.....	3
コースの構成.....	3
コースの概要.....	5
ファーストハンドアクセスの学習方法.....	7
Conversation（会話）.....	7
Listening（聞き取り）.....	11
Pair Work（ペアワーク）.....	12
Vocabulary Review（単語の復習）.....	13
学習の秘訣.....	14

はじめに

ファーストハンドアクセスへようこそ！初級レベルの学習者を対象としたこのインタラクティブなコースは、言い回しのパターンや型にはまった英会話の練習にとらわれず、英語でコミュニケーションができるようになることを目的としています。コースは日本の教育機関で実証された教授法に基づき、経験を積んだ指導者によって開発されました。

DynEd 独自のインタラクティブなプログラムによって、学習者は自分のペースで学習ができます。学習中の英語はくり返し聞くことができ、録音した自分の声と比較することもできます。わからない時は日本語訳を聞いたり、英文を表示することもできます。

コースの構成

ファーストハンドアクセスは12のユニットから構成され、6ユニットずつ2つのディスクにわかれています。それぞれのユニットには、自己紹介、物の尋ね方、1日の行動など実践的な項目や、過去型、人称代名詞、所有代名詞、場所の前置詞など語学を構成するための重要な文法が含まれています。各ユニットの中の言葉は、教室や一般社会でのコミュニケーションに必要なものが使用され、ユニットの初めの会話の中で紹介されます。

コースの構成は、自分、家族、身の回りの物についての説明ができる程度の言葉からはじまり、日常生活について話したり、過去や未来の自分について説明できるようになるまで、注意深く組み立てられています。コース構成の効果をフルに活用するには各ユニットを番号順に学習することが望ましいのですが、各ユニットは課題別に別れているので、別々に学習しても効果があります。通常各ユニット2〜3時間程度の学習が必要です。

このコースは語学の学習に重要な次の項目を念頭に構成されています。

一時記憶の活用：短い句を理解して繰り返すには、一時的に句を記憶することが必要です。文全体を暗記できるようになるまで短い句を何度もくり返し聞くことが重要です。

語学のコンセプト：ここで選ばれた文法と単語は教室や一般社会でのコミュニケーションに必要な、存在 (Are there any ...?)、確認 (What is it?)、所有 (Who does it belong to?)、頻度 (How often?)、所在 (Where is it?)、能力 (Can you do it?) などの重要な言葉を学習する手助けとなります。

渦巻き学習：重要な単語と文法は次のユニットに移っても繰り返し練習されます。ちょうど渦巻きを描くように、基本となる単語や文法の項目を中心に、繰り返し反復応用することで知識を拡大します。

理解力：文全体を理解するには、まず大まかな意味を理解しなくてはなりません。その為に、各レッスンで視覚的補助となるグラフィックが提供されている他に、英文を表示したり日本語訳を聞くことができます。またそれぞれの文を何度も繰り返し聞くことができます。

タスクベーストレーニング：課題に取り組みながら段階を追って学習すると、目的意識をはっきり持っているので集中力がつき、課題ができたという達成感があります。ファーストハンドアクセスの各レッスンは、インタラクティブな課題がたくさん盛り込まれています。

文脈：英語教材で使用される言葉はすべて全体の文脈に沿って紹介されなくてはなりません。文脈もまた使用される言葉にあわせたものでなくてはなりません。ファーストハンドアクセスで紹介される場面は、毎日の出来事を題材に設定されています。

実践への応用：語学学習を意味のあるものにするには、コース学習中に紹介された状況を自分なりに応用できることが必要です。ファーストハンドアクセスの登場人物は限られています。学習した言葉やコンセプトは、自分なりの状況に置き換えて活用することができます。

このインタラクティブなコースは英会話の経験のない学習者や、中学生、高校生のためにデザインされたものです。教科書版のファーストハンドアクセスと同様、インタラクティブ版のファーストハンドアクセスは文法と単語のレベルを徐々に上げることによって、学習者を混乱させることなく課題を1つ1つこなして行くことができる様に構成されています。英語でのコミュニケーションを目標としたこのコースは、聞く力と話す力に重点をおいて学習をすすめていきます。日常生活を中心に構築された文は、自然な会話形式で順序よく紹介されていきます。

ファーストハンドアクセスの12のユニットは、教科書版のファーストハンドアクセスにある12のユニットに相当します。各ユニットは1つ以上の基本的な語学の要点を中心に構成されています。

コースの概要

ユニット名	学習内容	文法
1. Where are you from?	個人的な質問 自分や他の人の紹介	"Wh" を使った疑問文 人称代名詞
2. What does this mean?	指示をする、指示に従う 教室にある物	命令形
3. What's this?	物や食べ物を識別する	"be" 動詞現在形 代名詞 "it"
4. What do we need?	存在について質問する	存在の "there is/are" 単数複数
5. Is this yours?	持ち物の確認 家族、色、洋服	所有格 所有代名詞
6. When do you go to work?	毎日の行動の説明 一日の時間帯、職業	単純現在 時間副詞

ユニット名	学習内容	文法
7. May I ask you some questions?	習慣について話す	動詞 頻度副詞
8. I got this on vacation.	過去の経験について話す	単純過去 "did"
9. I can't do this.	能力について話す	補助動詞 "can/could"
10. What is he doing?	現在の行動について話す スポーツ、レジャー、国、国籍	現在進行形
11. Moving in.	場所の説明 家と家具	場所の前置詞
12. You will meet an interesting woman.	未来の出来事について話す	未来 "will/going to"

ファーストハンドアクセスの学習方法

各ユニットは、**Conversation**（会話）、**Listening**（聞き取り）、**Pair Work**（ペアワーク）の三つの項目にわかれています。それぞれの項目で使用されている語彙、および内容は関連性をもって構成されているので、基本的には **Conversation**、**Listening**、**Pair Work** の順に学習してください。全ての項目を学習することにより、そのユニットの重要な単語や文型をより多く練習することができます。ユニット3、6、9、12には **Vocabulary Review**（単語の復習）が含まれています。

Conversation（会話）



ファーストハンドアクセスの各ユニットはアニメーションによる会話で始まります。会話では毎日の出来事を通してそのユニットの最も重要な言葉を紹介します。色々な人の英語を聞く練習をしてください。

ステップ1：Listen（聞いてみましょう）（5～10分）

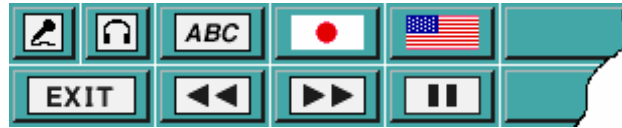
まず初めに通常で速度で会話を聞きます。絵を見て会話の内容を把握しましょう。出てきた単語が全部わからなくても問題ありません。後で十分練習する機会があります。

会話が終わると、ステップ2に進んで良いか聞かれます。“No”をクリックすると、会話をもう一度聞くことができます。“Yes”をクリックするとステップ2に進みます。

ステップ2 : Practice (練習) (10～20分)

今度は会話を文ごとに分けて聞きます。DynEd のコントロールバーを使って各文を練習してみましょう。コントロールバーを使うとプログラムを自分でコントロールできるので、わからない所を確認するのにとても便利です。コントロールバーをうまく使いこなすことによって、より効果的な学習をすることができます。

Control Bar



コントロールバーを使いながら、以下の要領で練習してみてください。

1. 会話の最初の文を聞きます。
2. 文を聞いたあとに、一時停止ボタンをクリックしてください。一時停止ボタンは赤く点滅します。これでプログラムは停止しました。こちらからもう一度再開するよう指示を出すまで先に進むことはありません。
3. 一時停止ボタンが赤く点滅している状態で、繰り返しボタンをクリックすると、文を繰り返し聞くことができます。何度も繰り返し聞いてください。
4. 翻訳ボタンをクリックすると、翻訳文を聞くことができます。プログラムは一時停止の状態が続きます。
5. ABC ボタンをクリックしてください。英文を表示し、さらに繰り返し聞くことができます。
6. 先に進みたい時は、赤く点滅している一時停止ボタンをクリックしてください。次の文に進むことができます。

(注) 繰り返しボタン、翻訳ボタン、ABCボタン等をクリックすると、プログラムは自動的に一時停止の状態になります。プログラムを再開し、先に進むには、赤く点滅している一時停止ボタンをクリックしてください。質問されている時は、解答をクリックしても先に進むことができます。

以上の要領で会話の各文を聞いてください。最後の文が終わると、ステップ3に進んで良いか聞かれます。もう一度会話の初めから聞きたい場合は、“No” をクリックしてください。“Yes” をクリックするとステップ3に進みます。

ステップ3 : Say it (言ってみましょう) (5～15分)

ステップ3では会話にでてきた文を実際に言ってみることができます。

1. 会話の最初の文をいくつか聞きましょう。登場人物が次に何を言うか当ててみましょう。



2. 人の絵の横に空のふきだしマークが表示され、矢印が録音ボタンの上で点滅したら、あなたの順番です。絵の下に表示された言葉をヒントに言ってみましょう。
なにを言ってよいかわからない時は、少し待つと、言うべき言葉が表示されます。
3. 録音ボタンをクリックしマイクロホンが赤く変わったらあなたの声を録音し、録音が終わったらもう一度録音ボタンをクリックして下さい。
4. 録音が終わると録音されたあなたの声を聞くことができます。もう一度自分の声を聞きたい時は音声再生ボタンをクリックしてください。終わったら、赤く点滅している一時停止ボタンをクリックして先に進んでください。
5. 会話の次の文を聞いてください。録音した文はありましたか。繰り返しボタンと音声再生ボタンを交互にクリックして、ネイティブの声と自分の声を比較してください。もう一度録音し直してみるのも良いでしょう。ABC ボタンをクリックして、文を確認してみることもできます。
6. 次回ふきだしマークと矢印が出てきた時は同じ要領で録音してください。会話と同じ文を言えなくてもけっこうです。どんどん自分に当てはまる文を作ってみてください。たとえば、“I’m Carmen” の所を自分の名前に置き換えることもできます

(注) ファーストハンドアクセスは、録音ボタンをクリックすると、学習中いつでも自分の声を録音することができます。各文を何度も言ってみることは、言う練習だけでなく聞く練習としても非常に効果的です。

ステップ4：Review（復習）（10～20分）

このステップでは会話の中の重要な文を復習し、ディクテーションを行うことによって重要な文法の構文や単語を学習します。

初めに会話の一部を聞きます。次に画面が変わり、画面上部に15の単語が表示されます。



次の順序に従ってディクテーションを進めてください。

1. 所どころ空欄がある文がいくつか読み上げられます。よく聞いてください。文頭の番号をクリックするとその文をもう一度聞くことができます。
2. 必要ならば、繰り返しボタンをクリックして文をもう一度聞いてください。繰り返しボタンを使った後、プログラムは一時停止した状態になるので十分な時間をとることができます。
3. 文中の空欄に当てはまる単語を画面上部にある単語の中から見つけ、クリックしてください。次にその単語の入る空欄をクリックしてください。空欄に選んだ単語が入ります。間違いに気が付いた時は、同じ要領で別の単語をクリックして単語を入れ替えてください。
4. 残りの空欄に単語を入れてください。どの順番で単語を入れてもかまいません。
5. 同じ要領で、2～4も進めてください。文頭の番号をクリックするともう一度文を聞くことができます。
6. 4つの文が完成したら、“Score”をクリックし、間違いがあるか見てみましょう。得点が表示されます。
7. 得点が 65% 以下の場合にはもう一度始めからディクテーションをする事ができます。
8. 得点が 65% 以上の場合、各文をもう一度聞いて、画面に表示された文を確認してください。別の色で表示された単語は間違いです。正しい単語を入れ直してください。
9. 例えば、1 番の文を修正したい時は、まず文頭の 1 をクリックして文を聞き直してください。次に正しい答えをクリックし、訂正したい文中の単語をクリックします。正しい選択の時は単語が白に変わります。

10. 間違いを直したら、END をクリックしてください。終わりにして良いかどうか聞かれます。“Yes” をクリックすると、そのユニットのメインメニューに戻ります。“No” をクリックすると、ステップ選択のメニューが表示されます。

Listening（聞き取り）



聞き取りでは会話で紹介された文法と単語をもっと詳しく学習します。ここには重要な文法と単語を更に理解するために、いくつかの段階に別けられた聞き取りの課題が盛り込まれています。

ステップ1：Practice（練習）（10～20分）

このステップでは色々な人の短い会話を聞きます。最初に勉強したいところを選んでください。コントロールバーの繰り返しボタン、テキスト表示ボタン、翻訳ボタン、録音ボタンを活用して学習しましょう。このステップを何回も練習してから次のステップに進んでください。

ステップ2：Answer（回答）（10～20分）

このステップでは質問に答えながら、ここまでのレッスンを自分がどれくらい理解しているかを試してください。質問を聞いて正しい答えをクリックしてください。例えば登場人物のエリが「I'm from Tokyo, (東京からきました。)」と言ったらコントロールバーのTokyoという言葉をクリックしてください。答えがあつ

ているとスクリーンにランスが現われて誉めてくれます。答えが間違っているとランスが「もう一度がんばってください。」と励まします。それぞれの質問に答えるチャンスは二回まであります。二回間違えると正しい答えが表示されます。

自信が十分つくまでこのステップを繰り返してください。ステップの初めに戻ることに出題の順が変わります。

ステップ3：Review（復習）（10～20分）

重要な単語と文法に焦点をおいた、ヒアリングとリーディングのレッスンです。質問を聞いて正しい答えをクリックしてください。それぞれの復習には10の課題が含まれ、レッスンを繰り返す度に課題が変わります。コントロールバーに100点満点中の自分のスコアが表示されます。復習が終わると聞き取りを終了するか、もう一度どれかのステップを学習するかを選択ができます。

Pair Work (ペアワーク)

ペアワークでは今までの項目で学習してきた文型を使う練習をします。学習ポイントはランスとの会話の中で質問文を構成したり質問に答えたりすることです。



ステップ1 : Get ready (準備をしましょう) (5～15分)

このステップでは例文に従って文を作る練習をします。スクリーンにいくつかの言葉が表示されます。これらの言葉を組み合わせて文を作ってください。組み合わせ次第でまったく違った文を作ることできます。



1. 例文をよく聞いてください。この文を作るための言葉が黄色でハイライトされます。例文をできるだけ覚えるようにしましょう。この練習を重ねることで英文の聞き取りが単語一つ一つからでなく、連なる単語の塊としてできるようになり、また重要な文法を理解する助けにもなります。
2. ランスから「Your turn (君の番だよ)」という合図があったら正しい順番に言葉を並べて文を作ってください。スクリーンの左側の言葉から始めて適切な言葉を順にクリックしていきましょう。順番が正しければできた文がスクリーンのボックスの下に表示されます。順番が違くと矢印が現われ「Try this one (この言葉でやってみて)」というヒントがだされます。矢印の言葉を使ってみてください。
3. 完成した文は自然な会話のスピードで読み上げられます。

4. 例文はいろいろ読み上げられます。但しこの時点では次つぎと新しい文に進まず一つ一つの文をじっくり頭に入れながら繰り返し聞いてみましょう。自分で文を作る自信がついてきたら、ランスの「Are you ready for step 2? 「ステップ2に進んでいいかな）」という質問に「Yes」で答えてください。

ステップ2 : Ask (質問) (10～20分)

ここでは自分で質問を作る練習をします。ボックスの中の言葉を使ってランスに質問してください。正しい順で文が作られるとできた質問文が読み上げられ、ランスの返答が返ってきます。なかには質問文を作る代わりに「指示を与える」文を作る練習をするユニットもあります。作られた文が文法的に間違っているとスクリーンに正しい答えを作るためのヒントが与えられます。自信を持って正しい文が作れるようになるまでこのステップを何度も繰り返しましょう。思い通りに文が作れるようになったらステップ3に進んでください。

ステップ3 : 回答 (10～20分)

今度はランスが同じような質問をしてきます。ステップ2で学習した内容が質問に使われることもあります。回答となる場所か回答欄の答えをクリックしてランスの質問に答えてください。回答する時間がもっとほしい時は一時停止ボタンを使いましょう。またコントロールバーのボタンをフルに活用して文を深く学びましょう。

Vocabulary Review (単語の復習)

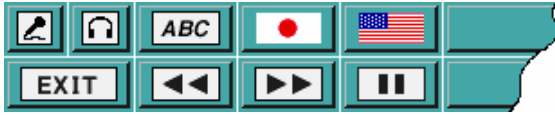


ユニット3、6、9、12にはそれまで学習したユニットの単語を復習するゲームが含まれています。この復習では、ゲームをしながら単語を集中的に覚えることができます。画面の左右にクエスチョンマーク（?マーク）が表示され、スクリーン上の選択肢の位置はゲームを開始する度に変わります。

スクリーンの左右に六つずつ「?マーク」が表示されます。「?マーク」をクリックすると、単語かグラフィックが表れます。初めに左の「?マーク」をクリックして開けてから右の「?マーク」をクリックしてください。左右の内容がマッチするとその部分が消えます。できるだけ早くて正確に「?マーク」を消していきましょう。マッチしなかった時でも内容と位置を記憶しておきましょう。全部マッチしてゲームが終わったらスコアを見てください。スコアを上げられるように何度も挑戦してみましょう。

学習の秘訣

1. まずプログラムになれましょう。コントロールバーにあるボタンの機能を覚えてください。



マウスでボタンを押しながら、マウスになれてください。わからない時は翻訳ボタンを押して日本語で説明を聞いてください。一時停止ボタン、繰り返しボタン、ABCボタン、翻訳ボタンをなれるまで何度も使ってみてください。耳も自然に英語になれてくるはずです。

2. 回答に時間が必要な時は一時停止ボタンを使いましょう。時間切れになるとレッスンは自動的に終了してしまいます。ボタンを効果的に使うと自分のペースで進行できるので、より楽しく学習できるでしょう。 
3. 1つのユニットは数時間かかります。一度に終わらせずに、20〜30分ごとに休憩を取ることをお勧めします。頭を休めることで、より効果的に学習することができます。各ディスクの総学習時間は、開始時の語学力やコースの学習内容によって異なりますが、10時間から15時間くらいと考え、自分にあったペースで学習してください。
4. 最も効果的に学習するには、まず初めにプレゼンテーションのセクションを行い、次に各レッスンを順番におこなってください。プレゼンテーションに出て来る文を完全にマスターし、質問にも答えられる様になれば、その後のレッスンは復習としてより深く理解することができるでしょう。
5. わからない時は翻訳ボタンを使いましょう。コースの進め方は全て英語で説明されます。説明の内容がわかる様になるまでは、翻訳ボタンを使ってください。

語学を学ぶ事は、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけなくてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くの事を学ぶことでしょう。各レッスンを完全にマスターするには、同じ部分を何度も繰り返し学習してください。語学習得には最も効果的な学習方法です。このコースは、英語を母国語とする人達の日常使用する言葉や、毎日の出来事をわかりやすく紹介しています。DynEdのファーストハンドアクセスで楽しく英語を学習して下さい。

DynEd Courseware is protected by international copyright and patent laws. No part may be copied without written consent of DynEd International, Inc.

Copyright ©2003 DynEd International, Inc. All rights reserved.

All trademarks and registered names used in this document are the property of their respective owners.

QuickTime[®]およびQuickTime ロゴはアップルコンピュータ社の商標です。
その他記載の商品名などは、各社の商標または登録商標です。本製品の一部または全部を無断で複写、転載することは法律で禁じられています。本製品の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。本製品には、「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。従って、本ガイドブックまたはその一部を輸出する場合には同法に基づく許可が必要とされます。

Version 4.1

3/03

1. まずプログラムになれましょう。コントロールバーにあるボタンの機能を覚えてください。



マウスでボタンを押しながら、マウスになれてください。わからない時は翻訳ボタンを押して日本語で説明を聞いてください。一時停止ボタン、繰り返しボタン、A B C ボタン、翻訳ボタンをなれるまで何度も使ってみてください。耳も自然に英語になれてくるはずです。

2. 回答に時間が必要な時は一時停止ボタン  を使いましょう。時間切れになるとレッスンは自動的に終了してしまいます。ボタンを効果的に使うと自分のペースで進行できるので、より楽しく学習できるでしょう。
3. 1つのユニットは数時間かかります。一度に終わらずに、20～30分ごとに休憩を取ることをお勧めします。頭を休めることで、より効果的に学習することができます。各ディスクの総学習時間は、開始時の語学力やコースの学習内容によって異なりますが、10時間から15時間くらいと考え、自分にあったペースで学習してください。
4. 最も効果的に学習するには、まず初めにプレゼンテーションのセクションを行い、次に各レッスンを順番におこなってください。プレゼンテーションに出て来る文を完全にマスターし、質問にも答えられる様になれば、その後のレッスンは復習としてより深く理解することができるようでしょう。
5. わからない時は翻訳ボタンを使いましょう。コースの進め方は全て英語で説明されます。説明の内容がわかる様になるまでは、翻訳ボタンを使ってください。

語学を学ぶ事は、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけなくてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くの事を学ぶことでしょう。各レッスンを完全にマスターするには、同じ部分を何度も繰り返し学習してください。語学習得には最も効果的な学習方法です。このコースは、英語を母国語とする人達の日常使用する言葉や、毎日の出来事をわかりやすく紹介しています。DynEdのファーストハンドアクセスで楽しく英語を学習して下さい。

DynEd Courseware is protected by international copyright and patent laws. No part may be copied without written consent of DynEd International, Inc.

Copyright ©1999 DynEd International, Inc. All rights reserved.

All trademarks and registered names used in this document are the property of their respective owners. QuickTime™ and the QuickTime logo are trademarks used under license.

QuickTime™および QuickTime ロゴはアップルコンピュータ社の商標です。その他記載の商品名などは、各社の商標または登録商標です。本製品の一部または全部を無断で複写、転載することは法律で禁じられています。本製品の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。本製品には、「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。従って、本ガイドブックまたはその一部を輸出する場合には同法に基づく許可が必要とされます。